

惣開校区まちづくり集会 開催結果報告書

開催日時 平成24年7月24日（火）19時から20時
場所 惣開公民館
参加者数 男43人 女38人 合計81人



1. 校区設定市政課題

課題名（ 星越山田社宅の保存活用について ）

討議内容（要約）

市の所有となった山田社宅1棟は、現在校区の子どもたちの学びの場として、また市民の勉強会、交流の場として活用されている。

平成23年度の利用回数は、12回、延べ約380名、平成24年度は6月末で、東平パネル展を含めて4回、延べ450名が利用している。

保存の面でも平成23年度は、17回、延べ70名、平成24年度は、8回、延べ30名の奉仕活動と、利用者による利用後の奉仕により、良好な状態で維持されている。しかし、利用する度に多くの問題に直面しており、何かと善処をお願いしたく、次の5点について市の考えをお伺いしたい。

- ①2棟のうち1棟については殆ど手付かずの状態である。少なくとも年1回、2棟の生垣の刈り込み、樹木の選定ができないか。
- ②消防法の関係でカーテンが全て撤去されている。そのために直射日光で畳の劣化が早いと思われるが、適応カーテンが設置できないか。
- ③空調設備が老朽化して使用できない。最低限度（メインの部屋）の空調設備（冷暖房）

ができないか。

④学習や交流会に必要な備品整備が出来ないか。(テレビ、ホワイトボードなど)

⑤駐車場の確保が出来ないか。

回答

山田社宅の旧住友共同電力社長宅の活用並びにぎぶとんや扇風機なども地元の自治会などで手配をしていただき、草刈りや室内の維持管理に関しましても、ご協力をいただきありがとうございます。

現在、旧社長宅の利用については、市の担当課と共に、惣開公民館においても、使用申し込みを提出していただければ、ご利用していただけるようになっております。

刈り込み等については昨年も実施しましたが、今年も実施いたします。

また、旧住友共同電力監査役宅についても電気を通し、消防法の指導による防災設備を整えたうえで、使っていただけるようにしたいと考えております。

また駐車場の問題も含めた、山田社宅の今後の保存活用については、現在、市が所有している2棟に加え西洋風社宅2棟と住友金属鉦山所長宅の合計5棟をどう保存活用していくか所有者との協議を続けることになっております。

6月11日から15日に旧社長宅で開催した『東平 記憶の継承写真パネル展』では、平日の5日間の開催でしたが、250名の方にお越し頂きました。

そのときには、山田社宅がどこにあるのか、会場の旧社長宅はどこなのか、この場所は、使うことができるのかといった問い合わせが多く、情報の発信が重要であると思いました。

また、来場者のうち、古民家に興味をもっているグループが結構な数お越しいただき、利用したいといった問い合わせがあることから、新たな利用者層が増えることを期待しております。

秋にも何らかのパネル展やワークショップを開催することにより、山田社宅に対する認識を深めてもらうと共に、活用の促進を図っていきたいと思っております。

現在は、試験的な活用段階であり、今後の利用増や利用者が必要としている物やカーテン、ホワイトボードなどの備品を見極めながら整備ができればと考えております。

※再検討事項

なし

2. 地域課題

なし

3. その他

なし